

## ミルキングパーラー排水用簡易浄化槽

FRP製ミニサイロ等の廉価な資材を用いた簡易浄化槽により、ミルキングパーラー排水のSS、BODなどの汚濁成分を常に水質汚濁防止法の排出基準以下のレベルまで浄化できる。また、この浄化槽の施設費は約90万円（自家施工の場合）と市販の浄化槽に比べ低コストである。

試作した簡易浄化槽は、必要な配管を施したFRP製ミニサイロ（容量2.6m<sup>3</sup>）を7つ、塩ビパイプで連結しただけの簡単な構造になっている。この浄化槽では、微生物による浄化処理が行われ、曝気槽と沈殿槽で汚れのひどい排水をある程度浄化し、接触曝気槽でさらに放流可能なレベルまで浄化する仕組みになっている。

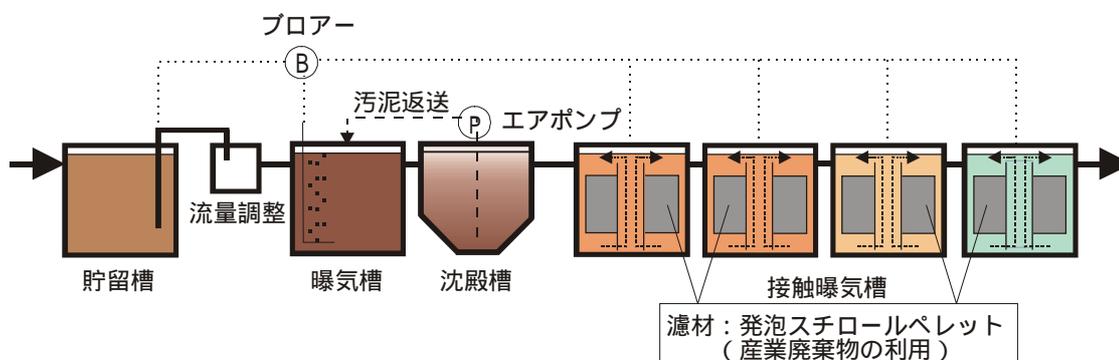


図1 試作したミルキングパーラー排水用簡易浄化槽

SS 600mg/L、BOD 2,000mg/L程度のミルキングパーラー排水を1日あたり1m<sup>3</sup>程度ずつ流入させたところ、最終処理水のSS及びBOD濃度は常に水質汚濁防止法の排出基準以下となり、特に平成9年（1997年）7月以降はSS、BODともに20mg/L前後の低いレベルで推移した。

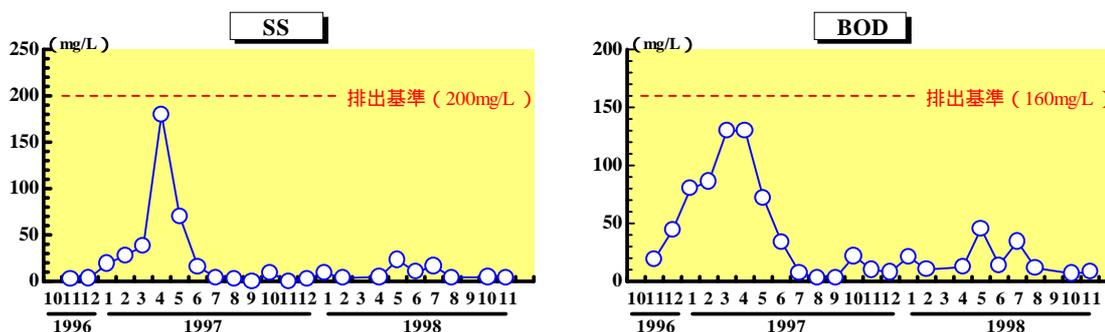


図2 最終処理水のSS及びBOD

表1 施設費

|        |    |            |
|--------|----|------------|
| 浄化槽タンク | 1式 | 622,500円   |
| ブローア   | 1式 | 261,000円   |
| 小計     |    | 883,500円   |
| 工事費    |    | 406,000円   |
| 合計     |    | 1,289,500円 |

施設費は、自家施工の場合は約90万円、設置まで依頼すれば約130万円である。

また、ランニングコストはブローアの電気代のみであり、消費電力0.75kWhのブローアを使用した場合、1ヶ月当たり約13,000円である。